

# 幼 兒 の 教 育

昭 和 十 一 年 九 月

## 九 月

潮ミ日光ミで灼きつけられた子ぎもの顔の黒さがだんくにはげて、その下から快よい健康味がつややかな色にあらはれて来る。その一方、夏に負けてぎこかすきくしく蒼白くたるんでゐた子ぎもの頬が一日々々赤味ざして、いつものふくよかき弾力ある表情ミにもぎつて来る。結果にせよ恢復にせよ、ぎつちにしても、九月は子ぎものに健康を盛りあがらせてくれる嬉しい月である。

強くなれく。ふきれく。はりきれく。先生なんか負かして仕舞ふほぎ元氣になれ。いよ。少し位の亂暴もいたづらも。おちさんがついてゐる。なあと先生だつて、みんなの内に充實してゐる九月の健康ミ元氣ミに對して、美しい目をみはつて感嘆し、心から嬉んでゐられるのだよ。

それにしても、子ぎものこの健康ミ元氣ミに對して、先生の健康ミ元氣ミをこの上にも願はずにゐられない。もしそうでないミ、九月の幼稚園は下が克つて上が負けるものになつたりする。